

クリエイティブ・映像制作プロジェクト

プロジェクトメンバー

渡邊佳寛, システム工学部, 1 回生
溝口 元, 観光学部, 1 回生
溝渕優太, 観光学部, 1 回生
櫻井嵩士, 観光学部, 1 回生
青山博和, システム工学部, 1 回生
川島基子, システム工学部, 1 回生

今年度の活動目標

1. 発足初年度の到達目標として、スタッフ全員が一通りの番組の作り方を技術的に学ぶ。
2. 学校内外を問わず、情報発信の担い手として責任を持ち、番組制作活動を行う。

1. 目的と目標

目的；

和歌山大学の中では、講演会や実験、様々な製作活動など非常に貴重な活動が数多く行われている。しかし現在、そのほとんどが外部に発信されないまま終わっていることが現実であったことに気づいた。そこで、当プロジェクトはテレビ番組の制作を通して情報を作る立場で活動する。また、日々進化する情報社会の中で効率のよい公開方法も模索する。

目標；

上記の目的にもあるとおり、例えまだカメラを触ったことの無いスタッフ、ノンリニア編集の概念を知らないスタッフであっても、取材から編集、書き出しまでの一通りの番組制作過程を学ぶこととする。

来年度以降を見通した最終的な目標として、自分達の定めた一つのテーマでテレビドキュメント番組を作り、情報発信に貢献する。

2. 活動

・観光学部紹介番組の制作

和歌山大学入試課からの依頼で制作を行った。人選から依頼、調整、取材、編集、提出まで制作の上で必要なほとんど全ての工程を自分たちのみで行った初めての番組といえる。内容は簡単なインタビュー番組だったが、スタッフ全員大変貴重な学習の場になったと考えている。なお、この番組は夏のオープンキャンパスで上映していただいたほか、様々なイベントの場で使用していただいている。

・和歌山大学キャンパスライフビデオの制作

和歌山大学入試課と共同制作を行った。短期間での制作となったが、スタッフ全員で様々な取材を効率よくこなせたと考えている。高校生にも分かりやすいように、学生が目線からの番組を目標に制作した。なお、このビデオはオープンキャンパスの全体会場で上映していただき、保護者を含む参加者の方から直接お褒めの言葉を頂くなど、スタッフのモチベーションアップにもつながったと考えている。さらにこの番組を、

インターネット上に公開する為の様々な手続きと映像圧縮の種類や容量などの吟味を進めた。現在の環境は取材から編集まで全ての機材がHD(High-Definition)対応しているため、最高画質で番組を制作することが可能である。しかし、それをそのままインターネットにアップロードすることは容量や回線速度などの問題から不可能で、映像・音声それぞれを構成するデータを圧縮する必要がある。依頼者の準備されているサーバーの能力を元に、圧縮形式や解像度、ビットレートなど様々な値を指定して最高のバランスが取れるように試行錯誤を繰り返した。現在、入試課ホームページより視聴可能となっている。ぜひ一度ご覧ください。

・講演会ビデオの制作

クリエイティブ主催の講演会「地球温暖化問題の真相」をマルチカム収録し、編集した。当プロジェクトからの要望により購入していただいたブルーレイドライブとBD-R を使い、初めてブルーレイディスクとしても番組提出している。また、従来のDVDビデオとしても提出している。さらに、クリエイティブ公式ホームページ上にも公開された。インターネットに接続されているコンピュータであれば学内外問わず誰でも再生可能になりました。ぜひ一度ご覧ください。

・ロケットプロジェクトの取材

秋田県能代市で行われたロケットの打ち上げ実験の様子を、主催者側からの公式取材班として招かれ、収録した。ただ、現存の機材だけでは非常に乏しく、また、ほとんど主催者側からの情報提供が無かったため、取材は非常に困難なものとなった。

大会スポンサーであるサントリーの担当者の方を交えて、今後制作していく番組の方向性を決定した。与えられている環境の中で、最も依頼側の要求に近いものにするために試行錯誤をした。取材素材を元に短編番組を制作しました。主催者や参加高校などいくつもの団体から直接依頼を受け、それに基づいてそれぞれ制作しました。これらの番組は各団体の研究発表会などで流していただいた。

中でも、「缶サット」というロケットの解説ビデオは非常に好評で、大会会長はじめたくさんの方から好評をいただいた。

今後も様々な視聴者に対してそれに見合った番組制作を進め、公開していきたいと考える。



・和歌山大学宇宙開発プロジェクト PR 番組の制作
秋田県能代市で開催されたロケット打ち上げ実験の取材ビデオを元に、宇宙開発プロジェクトのPRを目的としたビデオを制作した。テンポのいいまとまりのある番組に仕上げた。尾九土先生はじめ、クリエで活動している様々な学生の皆さんに試写していただき、高い評価を得ることが出来た。今後はシリーズとしてPRビデオの制作を検討すると共に、たくさんの方に見ていただける環境づくり（公開方法の吟味）にも力を注いでいきたい。



・大学祭に関する番組の制作
和歌山大学・大学祭実行委員会から公式に取材の許可を頂いた。クリエとのコラボレーション企画として活動している。綿密な打ち合わせの成果で、本番のみならず準備期間の取材も許可を頂くことにも成功した。ほとんどの工程を、後期から参加してくれている新しいスタッフだけで行ったが、非常に分かりやすい内容に仕上げることが出来た。編集後、当プロジェクトスタッフのみと、大学祭実行委員会との合同での合計2

回の番組試写・意見交流会を企画し、手直しもほぼ完了している。今後は双方の公式ホームページで番組を公開し、アピールに役立てる。

・橋本市の保育園幼稚園閉園に関する番組の制作
和歌山県橋本市からの依頼から始まった企画番組である。橋本市は旧・高野町と合併している。それに関する統廃合で、今年度いっぱい5つの保育園と幼稚園が閉園することになった。そこで園舎や園児の様子を取材し、番組として制作することで、今後取り壊しとなる思い出を記録した。
編集時間として予定していた期間が期末試験終了から1週間弱と非常に短く、スタッフも良い緊張の中で効率よい制作活動が行えた。作業に徐々に慣れてきたこともあり、スタッフ全員が作業を行えた。誰一人欠けても完成させることが出来なかった初めての番組であるといえる。
また、3月8日の閉園セレモニーにおいて当プロジェクトの機材を用いて、制作した番組をハイビジョンのまま上映させていただくことも検討中である。それだけでなくDVDビデオとして量産し、セレモニーの参加者に配布する計画も検討している。



・当プロジェクトチーム公式ホームページの企画
当プロジェクトと、番組制作に協力していただいた皆様、そして視聴者の方々を結ぶ場として、公式ホームページの制作を企画・検討中である。まずは、サイトマップの検討からはじめデザインなどに取り組んでいる。いままで制作した番組紹介だけでなく、制作現場などについても紹介し新入スタッフの募集も呼びかける内容としていきたい。

3. 結果と成果

結果；

スタッフ全員が1回生であり、かつ限られた環境の中で、非常に中身の濃い活動が出来たと考える。少なからず情報発信にも貢献できた。



成果；

試行錯誤で各機材の使い方を探り、スタッフ全員で情報を共有することにより、一通りの使い方は理解できた。ただまだまだ専門分野の領域でないため、今後も続けて勉強の場を探し、機材の使い方を覚えていきたい。

また、普通の大学生では絶対に味わえない「人との出会い」がそれぞれの番組にあったと実感している。



4. 今後の展開

番組制作の醍醐味は取材であり、人との出会いであることが分かった。コミュニケーション能力を高めるとともに、さらに伝わりやすい番組作りに心がけ、今後も活動を進めていく。

さらに、今後は新入スタッフの獲得が発展への鍵となる。やる気と行動力のあるスタッフを募集し、教育することで、後の代へもつないでいきたい。